



東洋大学懇談会

文学部 国際文化コミュニケーション学科 2023年度

Department of International Culture and Communication Studies

本日の進行

I. ご来場の皆様へ ー学科からのご挨拶ー

II. 国際文化コミュニケーション学科の概要

- ・コンセプト

- ・カリキュラムと学びの特徴

III. 学科で取得できる資格

IV. 学科教員紹介

V. 卒業生の進路

VI. 国際文化コミュニケーション学科の毎日

- ・学科の学びのサポート体制

- ・学科行事

- ・学びの風景

1. 国際文化コミュニケーション学科よりご挨拶

日頃より本学科の教育にご理解いただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

3年にわたり世界を苦しめた新型コロナウイルス感染症は、ようやく収束局面に入りました。

本学の教育教務も、通常運転に戻りつつあります。キャンパスに学生たちの笑い声の響く、この当たり前の日々の当たり前の風景がどれほど貴重であるかをしみじみとかみしめながら、なお残る感染再拡大の危険に備え、最大限の注意を払い、学生の皆さんの学びを守るべく、東洋大学では、教職員一同断固たる意志をもって、取り組んでおります。

パンデミック中も本学では、最新の技術、ツールを駆使して、学びの継続を図ってきました。その際に導入したオンラインツール、IT設備などは、はからずも本学の学びや国際交流に新しい躍動をもたらしました。大きな試練、災厄は、苦痛を伴いますが、それを乗り越えることで、人間を強くするということを、改めて実感しております。

今、ご存知のように国際社会は新たな試練の時を迎えています。しかし一人一人の力を合わせて、この世界に希望をもちつづけたい、国際社会の平和に貢献できる若者の育成こそが、私たち国際文化コミュニケーション学科の使命であると、一同決意を新たにしているところです。

引き続き本学科の教育にお力添えをくださいますよう、伏してお願い申し上げます。

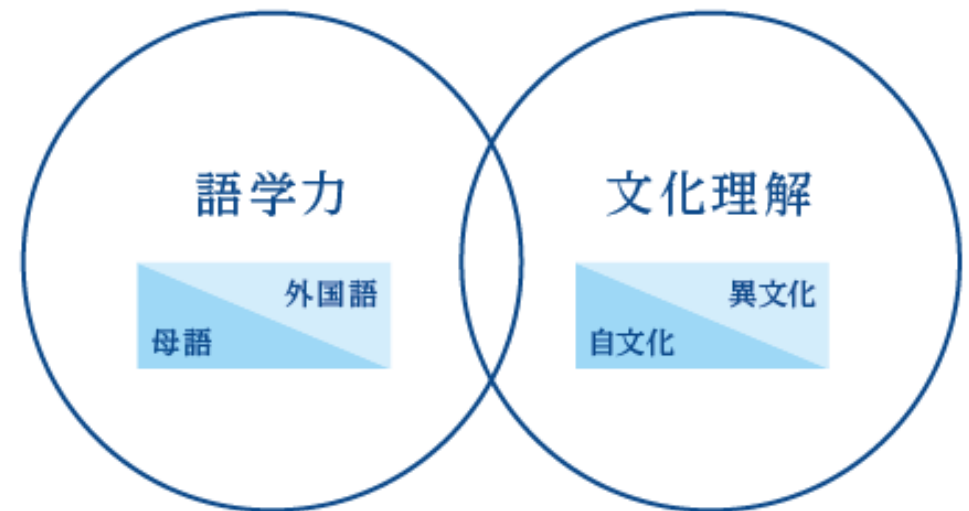
国際文化コミュニケーション学科

Ⅱ．国際文化コミュニケーション学科の概要

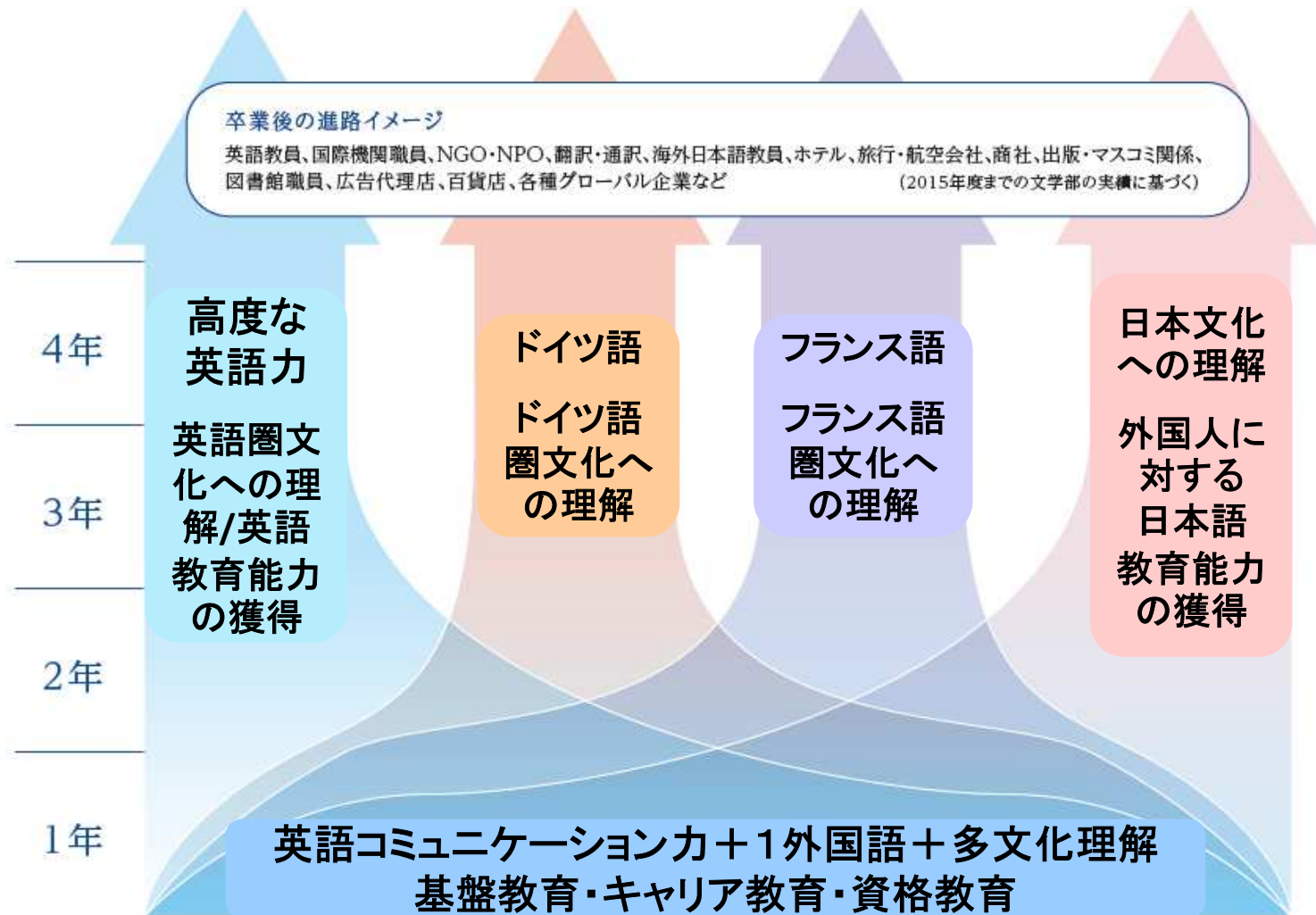
学科のコンセプト

国・文化・価値観の違いを越えて
信頼関係を築くための
真のコミュニケーション力を持つ人材を育成

国際化社会における「コミュニケーション」は、「伝える力」と「くみ取る力」のどちらが欠けても成立しません。その「伝える力」と「くみ取る力」は、母語と外国語の両方の「語学力」と、自分と相手の両方の「文化理解」によって身につけ、より深い信頼関係の次元へと私たちを導くのです。この「語学力」と「文化理解」を活かし、グローバル化していく社会を生き抜く「真のコミュニケーション力」を養成するのが国際文化コミュニケーション学科です。



Ⅱ. 国際文化コミュニケーション学科の概要 学科の4つの柱と学びの流れ



★1年次から「英語+1言語」の語学力を定着させ、異文化理解・文化間コミュニケーションの基礎を学ぶ。(入門ゼミナールの所属)

★2年次からは自身の興味に応じて所属ゼミナールを選択し、語学力・文化理解力の向上をめざす。

★2年次後半から3年次は、自主的な“学び”の実践期間。中・長期留学はこの時期がベスト。

★4年次は所属ゼミナールでの卒業論文作成を中心とした“学び”の集大成。

学科の5大特長

1) 充実した外国語指導

基盤となる英語運用能力の向上とプラス1言語

国際文化間コミュニケーションの基盤となる英語習得には、ネイティブの英語教員による授業を配置。プラス1言語には、ドイツ語、フランス語のみならず中国語も可能です。本学「国際教育センター」各種プログラムも含めた国際交流プランも充実しています。

2) 言語・文化・コミュニケーションの教育の融合

多様な文化に触れ、多言語コミュニケーション能力を高める

「英語+1言語」を1年次で習得し、2年次からはゼミナールを中心に、「英語・英語圏文化」、「ドイツ語・ドイツ語圏文化」、「フランス語・フランス語圏文化」、「日本文化と日本語教育」等の多様な言語・文化の理解を深めます。

3) 学内での異文化交流の実現

日常的に異文化コミュニケーションを実現できる環境

学生数の20%程度を外国人留学生で構成。留学生を含むゼミナール等少人数の授業空間では特に、英語を中心とした外国語でのコミュニケーションと異文化理解を体験し実践する機会を広げます。

4) 留学しやすい体制

留学を想定した柔軟なカリキュラムとサポート

入学時より留学ガイダンスを行い、海外協定校*への交換留学・語学留学・短期語学研修を支援します。海外での“学び”も規定を充たせば単位認定されます。世界基準の語学力(TOEFL, TOEIC, CEFR等)を意識した指導をし、語学を活かした就職サポートおよびキャリア支援をします。

5) アクティブな学びと将来への目配り

言語・文化・コミュニケーションを“教える”という道も

中学・高校の英語教員免許、司書、司書教諭、学芸員の資格を取得することができます。また、日本語・日本文化を学びかつ外国語で発信する“学び”を、外国人に日本語を教える日本語教員の道へとつなげることができます。

1) 「充実した外国語指導」とは

- 必修科目の英語→高度の運用能力
1年次から確実な英語力を身につける
- 英語 + ドイツ語/フランス語/中国語(留学生は日本語)
- コミュニケーション力向上にむけて
「読む・書く・聞く・話す」の技能をバランスよく身につける
- 留学を視野に入れた語学学習
- 外国人講師の授業も充実
- TOEICほか多くの外部外国語検定試験受験を推奨
学内での無料実施試験も

2) 「言語・文化・コミュニケーションの教育の融合」 多文化理解への道筋

- 「文化」とは 人間の社会集団に、長い時をかけて蓄積、継承されてきた思考、行動のすべてを包括するもの
⇒ 芸術や文学などのハイカルチャーだけでなく、
国境に支配されるものでもない
- 多文化理解とは (自文化を含めた)世界の多様な諸文化に対し、
ステレオタイプを超えた個別性を認めつつ、理解と共感を抱くこと

これらの“学び”を通じて…

- 
- 他者と自己の双方を見つめる「探求心」と「広い視野」を獲得する
 - グローバル化する社会の荒波に揉まれても「流されない自分」を見つける

3) 学内での異文化交流の実現

- 学生数の20%程度を外国人留学生で構成
- 少人数制のゼミナールにも留学生が参加
- 外国語での異文化交流の実践的空間が日常に

留学生と日本語で交流し、
留学生が日本語・文化を学ぶ
サポートをする

多様な
背景を持つ
コミュニティ
を形成

留学生と外国語
(英語・ドイツ語・フ
ランス語)で交流し、
自分たちの語学力
と文化理解を向上
させる

3) 学内での異文化交流の実現



※2022年度国際文化コミュニケーション学科はウクライナの協定校からの交換留学生を受け入れ、その日本語学習サポートを学生ボランティアがしています

4) 留学しやすい体制

- 東洋大学はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、北欧、アメリカなど**世界37カ国・地域、217大学以上**との国際協定を締結。(2022年2月28日現在)
- またISEP(世界各国の加盟校間で学生の交換留学を推進する大学連合組織)による**世界各国約300大学**や、UMAP(アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流組織を目的として設立された国際団体)加盟校への交換留学も可能

入学時
より
留学
ガイ
ダンス

検定試験等
の受験推進
TOEFL/TOEIC
独検/仏検
等

長期留学に
対応できる柔
軟なカリキュ
ラム

世界各国の
協定校へ
交換留学や語
学研修が可能

世界共通の
基準で
語学力を身に
つける

5) アクティブな学びと将来への目配り

講義科目＋ゼミナール

- ・発見する～研究する
→レポート作成
発表
議論



卒業論文

“学び”の集大成
テーマ・方法論を
自分自身で選択し、
指導教員のもとで研究する

- 思考力、表現力、発信力、行動力の育成
⇒ 社会人基礎力の伸長
- 「言語と文化を学んだ専門性のある国際人」として社会で活躍できるよう、資格取得もサポート
- 実務家教員や学外専門家を招聘して、社会との接点を作る機会を多く提供
- 学外での実習、インターンシップ機会の充実

Ⅲ. 学科で取得できる資格

- 中学・高校の英語教員免許
- 司書、司書教諭
- 学芸員
- 日本語教員

IV. 学科教員紹介 (五十音順)

- 朝比奈 美知子(教授) (フランス文学文化、比較文学文化) 大学院専攻長
- 石田 仁志(教授) (日本近現代文学)
- 大野 寿子(教授) (ドイツ文学文化、伝承文学(グリム童話))
- 竹内美紀(准教授) (児童文学、翻訳論)
- 竹野谷 みゆき(教授) (社会言語学、語用論)
- 鷹取勇希(助教) (英語学、言語的文化的多様性、地域研究)
- 馬場今日子(教授) (英語学、第二言語習得)
- 萩原 喜昭(教授) (電波天文学)
- 平畑 奈美(教授) (日本語教育、国際人材育成論) 学科長
- 堀 ひかり(准教授) (視覚文化論、ジェンダー論、映像学)
- カブシク・アントニア(講師) (Teaching English to Speakers of Other Languages)
- 上見めぐみ(講師) (Second Language Acquisition)

IV. 卒業生の進路 (参考)

- 国際文化コミュニケーション学科の就職率は文学部トップ
- 例年90%以上の学生が就職
 - * 昨年度は、4年生の約6%が東洋大学大学院に進学

- 卒業者の就職先の例(過去実績および2021年度内定)

公務員、教育・学習支援業(教員)、(海外の大学での)日本語教員
一般企業、

医療事務職、人材派遣業、銀行、
日本語学校教職員、空港内業務関連職、
ホテル業、ブライダル関連業、
広告/映像制作業、
IT(インターネット技術・Webサービス等)

大学院文学研究科

国際文化コミュニケーション専攻 について

卒業後の進路の1つとして、2019年4月に本学科に直結した大学院国際文化コミュニケーション専攻博士前期課程・博士後期課程を開設しました。

英語を中核とした「言語コミュニケーション領域」と英・独・仏・日の「国際文化領域」の2領域をカリキュラムの柱とし、多言語多文化社会に対する深い理解力と、グローバル社会への柔軟な適応力を身に付けた人材のさらなる養成をめざしています。

英語トラックも開設しており、国際色豊かな大学院となっております。

学部4年間で語学力を蓄え大学院での海外留学を計画したり、学部と大学院とで合計2回の交換留学を計画したりする学生もいます。

大学院科目の先行履修制度(3年次より)もあります。



東洋大学

在学生のための 大学院「学内推薦」のご紹介

大学院へ行こう！ 学内推薦のススメ

—進路選択としての大学院—

対象となる研究科

○進学可能な専攻は所属の学部学科により異なります。
進学可能専攻一覧を参照ください。

白山キャンパス所属研究科

文学研究科 / 社会学研究科 / 法学研究科 / 経営学研究科 / 経済学研究科 / 国際学研究科 /
国際観光学研究科 / 社会福祉学研究科

2020年8月入学試験実施内容

□博士前期・修士課程希望の在学学部生は、**本学Webサイト掲載の出願基準により、最新の成績表をセルフチェックのうえ、ToyoNet-Gから入試要項をダウンロードし、出願できます。**

【博士後期課程希望者、博士前期・修士課程希望の卒業生および2012年度以前入学の在学学生、2013年度以前入学の通信教育課程の在学学生・卒業生、試験科目免除の税理士希望者は、出願期間の一週間前までに大学院教務課へお問い合わせください。

※本出願にあたっては、推薦書の提出が必要となりますので余裕をもってご準備ください。

- ・出願期間 2020年7月10日(金)～17日(金)
- ・入試日 2020年8月23日(日)
- ・試験内容 面接(小論文を課す専攻も一部有り)

※各研究科の入試実施内容については、本学Webサイトをご参照ください。

<https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/academics/gs/prospective/ad/hakusan/IntlRecommend-Hakusan/>

お問い合わせ

文学、社会学、法学、経営学、経済学、国際学、国際観光学、社会福祉学研究科 ……大学院教務課

Email: mldaig@toyo.jp



VI. 国際文化コミュニケーション学科の毎日

学科の学びのサポート体制 共同研究室

- 教育・研究・学科運営等に関わる諸業務遂行のために使用されますが、特に皆さんの勉学や学生生活をサポートするのが重要な使用目的となっており、学科のティーチング・アシスタント(TA)がこの研究室でサポート業務に当たってくれます。
- 場所は、6号館4階の部屋です。
- **パンデミック以降、感染症対策(マスク着用、密集を避けるため入室者の人数制限、室内換気、静粛、飲食の禁止等)をして任務に当たっています。4月より、サーキュレーターを2台導入して、室内換気に利用しています。学生が安全に利用できる環境の整備に努めています。**
- 開室時間
 - * 通常学期中は基本的に、昼休みの13:00-14:00を除いて、月曜から土曜、午前3時間(10/11:00-13:00)程度と午後3時間程度(14:00-17/18:00)開室します。
 - * **国コミ共同研究室メールアドレス** iccs@toyo.jp



国際文化コミュニケーション学科の共同研究室

ゼミで必要な書籍を探したり、ティーチングアシスタントに相談がある学生はこちらへ...



4階の国際コミ共同研究室の隣には第二研究室があり(←)、日本語教育専門のティーチングアシスタントがいます。留学生のための「日本語クラブ」はこちらです。↓



そしてそのとなりにはゆったりくつろげるベンチがありますが(↑)、こちらではぜひともお静かに・・・

文学部 共同研究室2 60448
英語・国際文化コミュニケーション学科
Department of English Communication / International Culture and Communication Studies
Faculty of Letters Common Study Room 2

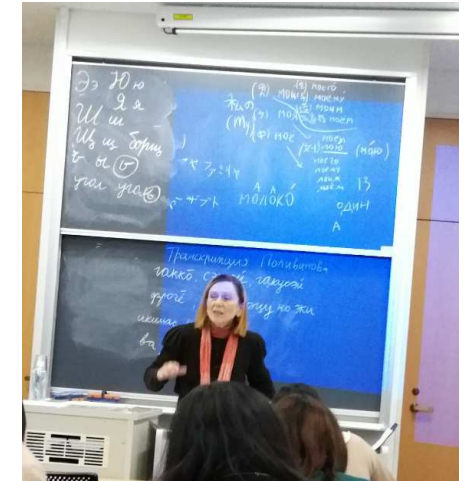
日本語クラブ
日本語TA

各種ガイダンス

- 新入生ガイダンス
- 在校生ガイダンス
- 英語教員志望者ガイダンス、日本語教員志望者ガイダンス
- 留学生ガイダンス
- オンライン授業準備ガイダンス
- 留学希望者向けガイダンス
- 就職活動関係各種イベント
- その他 卒業論文報告会、大学院報告会、学生交流会 etc

学科の学びの風景 (2017-2022)

様々な国からのゲストを迎え 豊かな国際交流を推進してきました



これまでの学科行事の例

2021～2022年度異文化自文化プロジェクト

「異文化を学び自文化を学ぶ」プロジェクト

- 2017年に「教育活動改革支援予算」による4年計画のプロジェクト(学長施策)として選定
- コロナ禍中は、オンラインに切り替え、感染予防に配慮しながら実施。

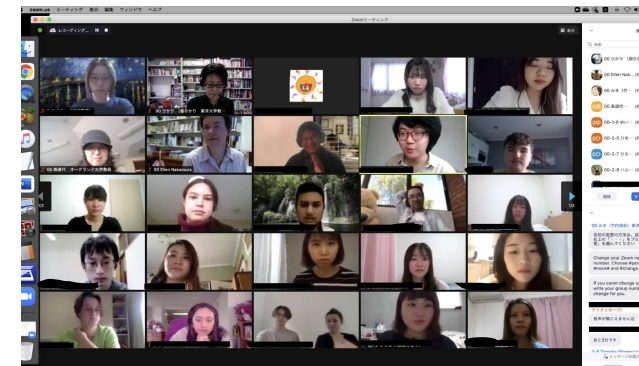


オークランド大学(ニュージーランド)とのZoom交流会

- 2021年5月18日(日本時間)

台湾大学&東洋大学Zoomインターゼミ

- 開催日時: 2021年6月1日(火) 11:30～12:50



これまでの学科行事の例

2021～2022年度異文化自文化プロジェクト

「シルクロードの真珠 ウズベキスタンを知ろう ～ウズベキスタン世界言語大学(USUWL) 日本語学科学生たちとのZOOM交流会」



東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科異文化自文化プロジェクト(Par2) 2021プロジェクト企画



シルクロードの真珠 ウズベキスタン を知ろう

ウズベキスタン世界言語大学
(USUWL)
日本語学科学生たちとの
ZOOM交流会
参加者募集

各日TGポイント
(1ポイント)付与

使用言語:
日本語

スケジュールと内容	
6月10日(木)4限	USUWL発表 ウズベキスタンの四季と祝日 歴史的観光スポット ウズベキスタンの人々
6月15日(火)4限	USUWL発表 ウズベキスタンの若者たちー ファッション、音楽、スポーツ、 今を生きる想いー
6月17日(木)4限	東洋大発表 日本の伝統文化
6月22日(火)4限	東洋大発表 日本語の文法・表現について
6月24日(木)4限	東洋大発表 日本の現代文化
6月29日(火)4限	ブレイクアウト・フリートーク

発表日は視聴のみ可能。最終日のフリートークは、発話者としての参加も可能です。
参加は無料ですが、各日参加可能人数に上限があります。
原則として先着申し込み順となります。

要事前申込→ <https://forms.gle/fu8Hpwpr9WFRT15T6>
(申込時に参加希望日を選択してください)
参加承認は申し込み後1週間程度で連絡。開催日前日までに ZOOMミーティング番号、パスワードを通知。
お問い合わせ: nihongota1@toyo.jp



これまでの学科行事の例

2021～2022年度 異文化自文化 プロジェクト

- 2022年度は英語圏文化理解プロジェクトを中心に実施

TGL 2022年度東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科
異文化を学び自文化を学ぶプロジェクト

講師 前沢明枝氏
子どもの本の翻訳の世界・翻訳者からみる児童文学

本講演では、児童文学翻訳者として活動されている前沢明枝氏に翻訳して読者に伝えるその醍醐味や難しさについてお話しいたします。児童文学や児童文学作品の翻訳に興味のある方にとっては、とても魅力的な内容ですので、ふるってご参加ください。
※本講演はTGポイント対象講演です。

日時: 2023年1月12日(木)3限 13:00～14:30
場所: 6202教室
↓下記Googleフォームより事前申し込み
<https://forms.gle/SXfqaWpJQLeNiQXE8>

前沢明枝氏 プロフィール
翻訳者。言語学者。アメリカのウェスタンミシガン大学で英米児童文学、ミシガン大学院で言語学を学び、帰国後は海外絵本・児童文学の紹介や翻訳に尽力する。著書に『「エルマーのぼうけん」をかいた女性 ルース・S・ガネット』(福音館書店)、訳書に『いつもみていた』(福音館書店)、『ピンクのれいぞうこ』(ひさかたチャイルド)、『家出の日』、『サンタクロースのしるいねこ』(以上、徳間書店)ほか多数。
徳間書店公式ホームページより引用(<https://www.tokuma.jp/author/s214939.html>)

前沢明枝氏 作品

 『いつもみていた』 作・絵 ジャネット・ウィンター 翻訳 前沢明枝 福音館書店, 2012	 『家出の日』 作 キース・グレイ 絵 コヨセ・ジュンジ 翻訳 前沢明枝 徳間書店, 2001	 『ピンクがいます！』 作・絵 ビレット・ラウド 翻訳 前沢明枝 福音館書店, 2014
---	--	---

本講演に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
文学部国際文化コミュニケーション学科 准教授 竹内美紀(takeuchi070@toyo.jp)



2022年度 東洋大学 文学部 国際文化コミュニケーション学科
「異文化を学び自文化を学ぶ」プロジェクト

講師 菱木晃子氏 私にとっての リンドグレン作品翻訳の楽しみ

日時: 2022年12月15日(木)
3限 13:00～14:30
場所: 6202教室
お申し込みは [こちら](#)
スマホ・タブレットの方は→



本講演では、スウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレンの「長くつ下のピッピ」シリーズ、「名探偵カッレ」シリーズ、『ウミガラス島の仲間たち』の翻訳をされた菱木晃子さんをお招きして、翻訳家になった経緯、リンドグレン作品との出会い、作品翻訳中のことなど幅広くお話しいたします。

菱木晃子氏プロフィール

慶應義塾大学卒業後、スウェーデンのウプサラでスウェーデン語を学び、数多くの児童書の翻訳を手掛ける。訳書に『ニルスのふしぎな旅』(福音館書店)、著書に『はじめての北欧神話』(徳間書店)など。2009年、長期にわたってスウェーデン文化の普及に貢献したとして、スウェーデン王国より北極星勲章受章。



左から『長くつ下のピッピ』『ピッピ船にのる』『ピッピ南の島へ』 右から『城跡の謎』『地主爺の墓』『危険な夏の島』 岩波書店、2018～2019 島 岩波書店、2019～2020

本講演に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

文学部国際文化コミュニケーション学科 准教授 竹内美紀 (takeuchi070@toyo.jp)



これまでの学科行事の例

2021～2022年度

異文化自文化プロジェクト

講演会

「世界の絵本と国際アンデルセン賞」

講師 Dr. Junko Yokota

米国ナショナル・ルイス大学 名誉教授)

第9回異文化を学び自文化を学ぶプロジェクト
「世界の絵本と国際アンデルセン賞」

Dr. Junko Yokota
(米国ナショナル・ルイス大学名誉教授)

本講演では、アメリカのナショナル・ルイス大学名誉教授であるヨコタ先生にお越しいただき、世界の絵本と国際アンデルセン賞についてお話をさせていただきます。3限ではヨコタ先生による講演会を行っていただきます。4限では東洋大学の研究生による発表のチュートリアル指導をしていただきます。

日時：2023年1月26日（木） 3限 13:00～14:30 4限 14:45～16:15

場所：6211教室（3限、4限同教室）

申し込みフォーム：<https://forms.gle/3wTrB5xxxSKfwpTc9>

講師プロフィール：Dr. Junko Yokota

米国ナショナル・ルイス大学名誉教授。幼少期に渡米され、小学校教諭や図書館司書としてキャリアを積む。また児童文学を対象とする、「国際アンデルセン賞」*1の現選考委員長でもあり、他「コルデヤ」「ニューベリー賞」*2の委員としての経歴も持つ。子ども向けの電子書籍や多文化および国際文学、リテラシー教育などを中心に研究。



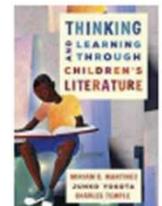
著作：



Children's Books in Children's Hands (6 editions, 1994-2019)



Windows Children's Literature Database 2.0 for Children's Books in Children's Hands (2002)



Thinking and Learning Through Children's Literature (2017)

*1 「児童文学のノーベル」と称される国際的な賞。作家・画家の個人単位に贈られる賞。なお作家には二年に一度贈られる。

*2 その年にアメリカで出版された絵本の中から最も優れた作品を描いた作家に毎年贈られる賞。

*3 その年にアメリカで出版された児童文学の中で最も優れた作品を描いた作家に毎年贈られる賞。

本講演に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

文学部国際文化コミュニケーション学科 准教授 竹内美紀 (takeuchi070@toyo.jp)

英語・外国語関係の講演会も多数実施



2021年度 第2回 グローバルプロジェクト講演会

「やさしい英語でSDGs」



講師 本間正人 (京都芸術大学教授)

日時: 6月15日(火) 13:00~14:30

場所: オンライン (申込者に後日 Zoom リンクを連絡)

最近よくSDGsという言葉を目にしませんか？
よく聞けれど、難しそう、自分には関係がない、と思いませんか？

いいえ、違います。

SDGsは人類すべてで目指すべき目標であり、一人一人が今すぐできることばかりです。
私たちと一緒に英語でSDGsを学んで、グローバルな視野を身に着けませんか？
『やさしい英語でSDGs』著者であり、英語教育に定評がある本間正人先生をお迎えします。
皆様のご参加お待ちしております。

申し込みは下記 Google フォームより

[\[https://forms.gle/sNgPn89jB28ViYXC8\]](https://forms.gle/sNgPn89jB28ViYXC8)



本間正人氏プロフィール

「教育学」を超える「学習学」の提唱者。NPO 学習学協会代表理事アカデミックコーチング学会会長、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会理事等。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書79冊。東京大学文学部社会学科卒業、ミネソタ大学大学院修了(成人教育学 Ph.D.) NHK 教育テレビ「実践ビジネス英会話」「三か月トピック英会話: SNSで磨く英語アウトプット表現術」の講師などを歴任。

主催: 文学部国際文化コミュニケーション学科
本講演に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

東洋大学文学部日本語教員養成プログラム 日本語カフェ2021 外国語教育セミナー

外国語の「科学的学習法」を求めて

英語学習にはりめぐらされた畏に落ちないために

講師: 原田康也先生
早稲田大学法学学術院教授 情報教育研究所所長

講師プロフィール

東京大学教養学部理科I類入学、東京大学教育学部学校教育学科卒業。1986年早稲田大学大学院人文科学研究科英語英文学専門課程修了。1986年早稲田大学法学部に着任。現在にいたる。この間スタンフォード大学言語情報教員センター訪問研究員、私立大学情報教育協会英語情報教育研究委員会委員、NPOインターネット・ラーニングアカデミー理事等歴任。日本ビジネスコミュニケーション学会、日本教育言語学会、日本英語教育学会、日本語情報学会の代表職を歴任。



あなたの英語学習はいかがでしょうか？



TGポイント
(1ポイント)
付与対象講座

7年も英語の勉強をしたのに、英語で雑談もできない、ニュースの聞き取りもできないとお悩みの皆さん、必聴です！

オンライン開催(ZOOM)
7月13日(火)4限 14:45~16:15

参加無料。参加可能人数に上限があります。
原則として先着申し込み順となります。

要事前申込 → <https://forms.gle/ojKMoDKlKl2ehdDH8>

開催日前日までにZOOMミーティング番号、パスワードを通知。
お問い合わせ: nihonzota2@toyo.in



著名なゲストを招いての対面での講演会やセミナーも2021秋から再開

東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科
異文化を学び自文化を学ぶ 2021プロジェクト企画講演会

言葉とコミュニケーションが 医療的ケア児の未来を変える



講師: **内多勝康** 氏
元 NHK シニアアナウンサー
現 国立成育医療研究センター
「もみじの家」ハウスマネジャー

東京大学教育学部卒業、1986年NHK入社。
『クローズアップ現代』で2013年に医療的ケア
児を特集し、その問題の重要性を痛感。社会福
祉士の資格を取得後、ことばの世界から医療的
ケアの世界へと転職。現場の最前線に立ち、「支
援を必要とする人と支援する人・制度とを結び
つける」仕事に全力を注いでいる。

講演キーワード
教育・コミュニケーション・
言葉・子ども・医療的ケア

11.27 土
3限: 13:00~14:30
(開場12:30)
白山キャンパス5号館
井上円了ホール

参加無料。ただし参加
可能人数に上限あり。原
則として先着申し込み順

「医療的ケア児」とは?
人工呼吸器等の医療的
ケアを日常的に必要とす
る子ども。医療、福祉、保
健、子育て支援、教育等
の多職種連携が必要と
される、日本の教育の大
きな課題になっている。

医療的ケア児の問題
と もみじの家
内多氏をとりあげた
2021年10月7日
朝日新聞記事



要事前申込: 
<https://forms.gle/w8nthB9onbyBRbW8>
問い合わせ:
nihongota3@toyo.jp

2021年度トップリーダー連携教育支援プログラム第2回講演会

劇作家・演出家
平田オリザ 氏特別講演会

わかりあえないことから
異文化理解とは何か

12.11 土

16:20~18:00 (開場15:50)
125記念ホール
白山キャンパス8号館7階



劇団「青年団」主催。
芸術文化観光専門職大学学長。
岸田國士戯曲賞、モンブラン国際文化賞、
フランス芸術文化勲章など受賞多数。
2009年から2011年まで内閣官房参与。
2012年ベストセラー『わかりあえない
ことから』、『幕が上がる』
(ももいろクローバーZ主演で映画化)を発表。
諸外国との合同公演や国際交流にも力を入れており、
青年海外協力隊をテーマにした演劇『もう風も吹かない』は
国際交流機構(JICA)訓練所の25周年記念公演となった。
名実ともに日本を代表する文化人の一人である。



参加無料。ただし参加可能人数に上限あり。
原則として先着申し込み順

要事前申込 <https://forms.gle/m2NoMAzeczL4ryYV9>
問い合わせ: nihongota3@toyo.jp



学外専門家の講演会、資格を生かして就職した卒業生の講演会 他学部とのコラボレーションも

文芸編集者の醍醐味、
あるいは出版社で海外
を舞台に仕事をすると
いうこと

野間教育研究所事務局長 & 元講談社部長
山口和人氏 講演会
2021年11月23日
4時限目 (WEBEX オンライン) ※リンクは右下

概要
毎年の就職先人気ランキングやエントリー数を見ていると、出版社人気は相変わらず高いようです。大手に限って言えば、いまや“出版不況”を完全に脱し、むしろ驚くべき好況を迎えています。

このような機会をいただき、まず皆さんには、編集という仕事、特に文芸編集の面白さを、講談社の文芸部門に永年在籍した経験者の肉声としてお伝えできればと思っています。



また近年出版社では、将来の人口縮小を見据えて海外マーケットの比重が高まっています。文芸編集と並行しつつ海外版權売買の実務に携わった人間として、海外を舞台に仕事をするとどういふことも、エピソードを交えてお話しします。

国際文化コミュニケーション
専攻 & 学科
キャリアデザイン講演

Profile: 上智大学卒。マサチューセッツ
大学大学院修士課程修了、ペンシルバ
ニア州立大学大学院博士課程中退。
講談社入社以来、文芸出版部および
『群像』編集部にて編集、海外文芸出版
部長を務める。『群像』出版部長、デジ
タル・国際事業部長などを歴任。編集者と
してノーベル文学賞作家・大江健三郎氏
を長年にわたり担当しつつ、海外での販
権売買業務、野間文芸賞審査員の選
管を担当。2021年度より大学院で「マ
スコミ文芸論」を担当されています。

WEBEX オンラインリンク
<https://toyouuniv.webex.com/toyouuniv/j.php?MTID=MA46129BCF0F0C6A60E6E24C6BDE167D>
どなたでも視聴できます。
【問い合わせ先】
ishidah@toyo.jp
国際文化コミュニケーション学科
石田仁志

2021年度 文学部キャリア・就職支援委員会講演会
日本語学校で国家事業に関わる
講師: 美氏 (株式会社アークアカデミー)
文学部国際文化コミュニケーション学科第1期生。
2021年3月卒業。2021年4月より、株式会社アークアカデミー研修事業部に勤務。2019年度日本語教育能力検定試験合格。

2021年度 日本語カフェ 第5回
**日本語教師1年目の仕事
-先輩からのメッセージ-**
-この講演会で学べること-
実際の仕事内容
在学中にやっておくと良いこと
日本語教師としての
やりがい・楽しさ・学び

この講演会で学べること
日本語を教える以外の仕事
そのような仕事の社会的背景
日本語学校で仕事をするために必要な資格

も参加可能です。
からお申し込みください。
nPBc9WKX6HKF56

美氏 (ABK学館日本語学校)
文学部国際文化コミュニケーション学科第1期生。
2021年3月卒業。2021年4月より、ABK学館日本語学校に勤務。
2019年度日本語教育能力検定試験合格。

お問い合わせ: nihongota4@toyo.jp

1.7金
4限(14:45-16:15)
6301教室
対面開催(予定)
参加費無料
※新型コロナウイルス感染症対策のため、参加可能人数に上限あり。原則として申し込み先着順。

お申し込みはこちらのQRコードまたはURLから
<https://forms.gle/Fm88Kcuiy0L46R7z>

東洋大学文学部日本語教員養成プログラム 2021年度日本語カフェ第5回
オンライン講演会のお知らせ
カンボジアの日本語教育の現在と未来
～アンコールワットの街の日本語教室から～

講師 鬼一三先生
特定非営利活動法人
アンコールワット日本
文化交流会国際日本文
化学園理事長
一三日本語教室
学校長

【講演概要】
様々な困難を乗り越えてめざましい経済発展をとげつつあるカンボジア。その最大の観光資源はシェムリアップ州の世界遺産アンコールワットです。この遺跡の町に、とてもユニークな日本語学校があります。2013年にはNHKの『世界で仕事ハッケン伝』や、テレビ東京の『世界ナゼそこに?日本人～知られざる波乱万丈伝～』でもとりあげられた、鬼先生(一本名)の学校です。今回カンボジアと東洋大学をオンラインで結び、鬼先生と、カンボジアの皆さんに、書面をお話を伺います。

【詳細情報】
日時: 2021年12月9日
【事前セミナー】
形態: WEBEXによる
申込方法: 右記QRコードのURLのGoogleフォームから
申し込み可能最終日
募集人数: 制限なし(参加承認、リンクは参加費 無料)
※講演聴取希望者は東洋大学の学生・附知識などはなくてもOK

**日本の医療・福祉を支える
外国人材と日本語で話してみよう**
ベトナムEPA看護師・介護士候補生とのZOOM交流会

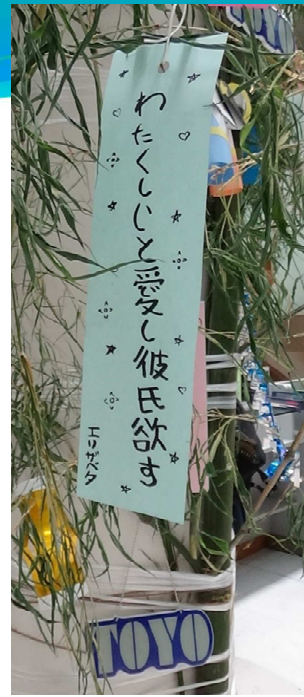
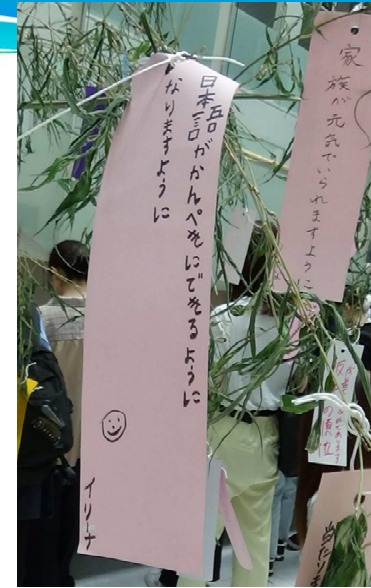
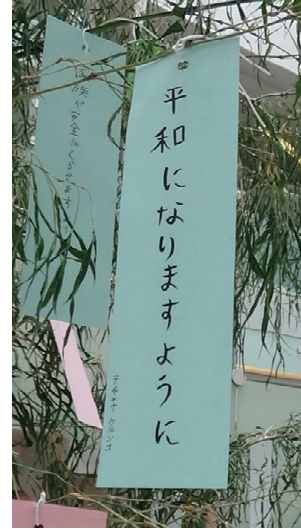
日時 (19/28(火) 4限 14:45～16:15
29/29(水) 2限 10:40～12:10

・両日程への参加を希望の場合、別々に申し込み必要あり。
・火曜日は参加可能人数に上限あり。先着順
・どちらかのみでの参加も可能
※各日程の1週間前に45分の事前セミナーあり。
詳細は申し込み確認後、別途個別に連絡
要事前申込① <https://forms.gle/JR7UcNvYluav5LzM6>
② <https://forms.gle/sasSvbDEmK2mWDAZ>
(希望日程を確認の上、上記URLからお申し込みください。)
開催日前日までにZOOMミーティング番号、パスワードを通知。
お問い合わせ: nihongota3@toyo.jp

【事前セミナー実施機関】アークアカデミー 使用言語: 日本語

めざましい発展を遂げるベトナム！
ベトナムの文化・社会、国際交流、
日本語教育、医療問題など...
に興味のある人、ぜひ参加を！

戻ってきた学科のにぎやかな学び



学生たちの姿が戻った 白山キャンパス

6号館



1-2号館
連絡通路下



中庭

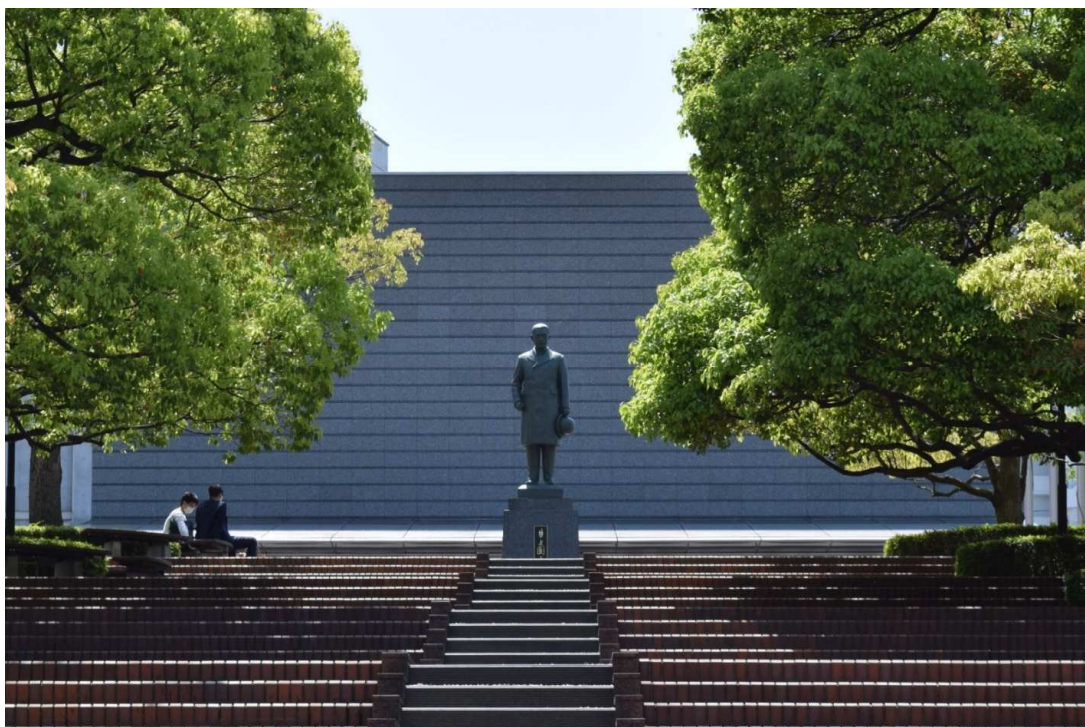


8号館
入口

名物学食も再開



緑の白山キャンパス



そして再び海外へ！

国際文化コミュニケーション学科主催の海外研修

2022年度海外日本語教育実習
(ウズベキスタン)2023.3.15
サマルカンド
世界遺産レギスタン広場にて⇒



2023年度実施予定

ドイツ語圏文化研修(スイス)

←本学提携校スイスチューリヒ大学本部前広場
からの眺め

撮影:Hisako Ono(2019.9)



付記

本学科新入生への言葉

—学科長祝辞—

新入生の皆さん、東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科へのご入学おめでとうございます。この大学の学生たちもそうでしたが、皆さんもこの2年間、オンライン授業が続き、たくさんの不便、不安、孤独に直面してきたと思います。それらの問題を乗り越えて、ここまで進んできた皆さんの勇気を称えます。本当に、よくがんばりました。

さて、国際文化コミュニケーション学科は、世界のことばや文化を学ぶ学科です。世界の各地の伝承において、ことばというのは、単なる道具ではなく、特別な力のあるものだと考えられています。

日本という国のことを、昔の人は、「ことだまの幸う国」と言いました。言葉には霊的な力があり、それによって祝福された国ということですね。外国でも、たとえば、旧約聖書には、「万物は言葉によってなり、言葉によらずなつたものは一つもなかった」とあります。現代の西洋諸語には、「言葉の人」という表現があります。英語では、man of his word となります。どういう意味かわかりますか？約束を守る人という意味です。

言葉は、ただのツールではなく、人が人として責任を果たし生きていくための、重い意味のあるもの、天から与えられた特別な力を持つものだと人間は考えてきたのです。

皆さんはこの学科で、卒業までに、さまざまな言語の、言葉の力をしっかりと身につけてください。ただ試験の点を上げるだけでなく、その特別な力を使って、この地球上で、この激変する世界の中で、自分は何をするのかを考えてください。

私は日本語教師です。日本語を世界の人に学んでもらうために、これまで34の国を訪問し、5つの国で生活してきました。

その5つの国の一つが、ウクライナです。20世紀の終わるころ、私は、その首都キーウに2年間住んでいました。最近、ウクライナのことを、毎日思い出します。

こんなこともありました。ユダヤ系ウクライナ人の友達が、「私たちは、自分の子どもに、ピアノよりバイオリンを習わせる」と言ったんです。

日本と違いますよね。どうしてでしょうか。

皆さん挙手してください。

1. バイオリンのほうが音がきれいだから
2. バイオリンのほうが早く上達するから
3. バイオリンのほうが軽いから

答えは3です。

危機を知る国民は、持って逃げられるものしか持たないと。

そしてバイオリンさえも持って逃げられない禍に襲われた時、私たちが持って逃げるのは教育だと。どんな暴力も、どんな権力も、受けた教育だけは、人間から奪うことができないと。

どこの大学で何を学び、どんな資格を取ったか、そういうことも大切でしょう。
ですが、皆さんの人生を左右するのは、皆さんがその教育によって、どのような人になったか、
何を選び、何をする人になったかということです。

皆さんがこれから生きていく時代にも、危機は待ち受けているでしょう。その時皆さんを支え
る力となる教育を、私たち国際文化コミュニケーション学科一同は、皆さんに与えたい、そのた
めに全力を尽くします。

皆さんも全力で4年間を駆け抜けてください。

以上で私のご挨拶を終わります。

国際文化コミュニケーション学科
学科長 平畑奈美